

■ 異色の洋画家

# 伊藤 弥太

いとう やた

出身地 大館市

1892年（明治25年）～1975年（昭和50年）

はじめ岸田劉生に師事し、やがて帝展、独立美術展を経て国画会会員となる。具象画から一時抽象画に傾倒した後、より洗練された具象画を描くに至る。晩年の代表作として「象潟の初夏」が知られる。



## 年譜

- 1892年 おおだて 大館市に生まれる。
- 1910年 県立大館中学校卒業。
- 1911年 きしだりゆうせい しじ そうどしやてん 岸田劉生に師事、草土舎展に出品し始める。
- 1912年 国民新聞社記者。
- 1914年 そうりつてん 二科会創立展に入選。
- 1927年 ていてん 帝展に入選。
- 1958年 国画会会友になる。
- 1964年 国画会会員になる。
- 1969年 秋田県文化功労章受章。
- 1975年 おおだて ぼつ さい 大館市で没。83歳。